

そらちみなみ

7
月号

2011 Vol. 30



由仁地区



栗山地区

- 主な内容**
- 小学生の田植え体験
 - 営農指導課のページ
 - 年金友の会栗山支部G B大会
 - 青年部/パークゴルフ大会
 - 青年部による食育活動
 - 米穀・大豆出荷契約
 - 第2回営農いろは塾開催
 - 女性部サークル紹介
 - 各地区の作業風景

...etc

～種馬鈴しょ第1期防疫検査～

6月27日、平成23年度種馬鈴しょ第1期防疫検査が実施されました。

移植後も雨が続き、生産者の皆さんは除草作業等に苦労されていましたが、午前中に由仁地区、午後に栗山地区で検査された結果、今年も無事全筆合格となりました。

7月には、第2・3期の防疫検査が予定されています。

♪記の感動と歓声♪

小学校で田植え体験



継立小学校



由仁小学校



角田小学校



栗山小学校



三川小学校・川端小学校合同

5月下旬、栗山・由仁町内の各小学校で今年も田植えが行われました。

5月24日の継立小学校を皮切りに、5月27日には栗山小学校と由仁小学校、5月29日は三川小学校と川端小学校が合同で、5月31日に角田小学校と順次行われ、それぞれ継立小学校はななつぼし、栗山小学校はあほろづき、由仁小学校はゆめぴりか、三川小学校・川端小学校はきらら397、角田小学校はななつぼしの苗を植えつけました。

児童達は圃場を提供してくださった生産者の方や先生から説明を受けて裸足で圃場に入り、「冷たーい」、「ぬるぬるする」と連呼しながら恐る恐る進み苗を植えていきました。

また、初めて田植えを体験する子と、すでに経験済みの子では口にする言葉が異なり、初めて田植えを行う子は最初こそ「足が抜けないから疲れた」、「転びそうで怖い」と言つていましたが、次第に慣れて「あと一列やつていい?」「もう田はないの?」と積極的になつていき、田植えの面白さを感じていました。一方、すでに経験済みの子は「何回やつてもやっぱり面白い」、「今年は今まで一番足が冷たかった」と経験者ならではの感想を口にしており、用水で足を洗うときは全員が「まだ冷たい」、「やばいパンツまで濡れた」などとせしゃぎながら手足の泥を落していました。

今年も秋に稻刈りが行われる予定ですが、それまでの米の成長の様子にも興味を抱いて欲しいものです。

宮農指導課のページ

「幼穂形成期の確認と
深水管理はお済みですか」

水稻の収量確保の重要なポイントになる、幼穂形成期以降の深水管理については、毎年その徹底が呼びかけられています。しかし、それが、残念ながら好結果が得られていない場合もあります。



右の写真は、開花間近の粉を割つて薬（やく）花粉が入っている袋の状態を確認したものです。この写真では、薬の大きさも十分で（2mm以上）、不稔歩合が10%以下という好結果が期待できます。

深水管理は、この薬を大きくして中に詰まる花粉の数を多くし、受精率を向上する技術です。

幼穂形成期から10日間（前歴期

間）は5～10cmの水深、その後の10日間（冷害危険期）は10～20cmの水深に保つことで、目的が達成できます。

深水管理終了後に、出穗した穂を探取し、粉を割つて写真のよう元気な薬が確認できたら一安心です。

「いもち病の発生動向に注意」

春以来、2年連続で多発した水稻の「いもち病」に関する多くの情報が届けられていますが、現在の状況はいかがでしょうか。



「耳にタコ」状態とは思いますが、今一度、穂いもちへの移行を防止するために必須な、葉いもちの発生に対する警戒と、発生情報に基づいた機敏な対応をお願いします。

「子実コーンの取り組み」
飼料用トウモロコシの実穫り栽培による「土づくり」と、輪作体系の確立に向けた取り組みが、今年も始まりました。

春耕期の農作業が遅れたことで先送りされていた播種作業が、昨年より2週間以上遅い6月9日に終了しました。

る安定生産に興味をお持ちの方は、宮農指導課にご一報下さい。

「作物病害虫の発生

盛期になりました」
多くの作物が、栄養生長から生殖生長に転換する時期を迎え、病害や虫の被害が目立つ季節になっています。作物を病害虫から守るには、早めの対応が大事です。

見慣れない異常に気が付いたら、すぐにご一報下さい。



今年は、昨年より4割増しの約8ha（大井分粒里、旭台・高野龍一、鳩山・瀬尾正樹、古川・大場猛彦、敬称略）での取り組みになりました。

少々気が早いのですが、次年度は更に取り組みの規模を拡大したいと考えてありますので、「土づくり」と「輪作体系の確立」によ

農薬のドリフトにご注意下さい

予期せぬドリフトの被害が毎年のように繰り返されています。

ドリフトは、「させた側」、「された側」とともに不快な思いを強いられることになりますので、既にお届けしております宮農技術情報を参考にされ、万全の備えで農薬を使用されるよう、改めてお願いいたします。

万が一その可能性を認識された場合は、遅滞なく宮農指導課までご一報願います

♪ハッスルプレーの連続♪

年金友の会栗山支部GB



井内 武男さんの選手宣誓



選抜チームに優勝旗授与

第24回年金友の会栗山支部のゲートボール大会が6月15日（水）に栗山町市民運動公園で開催されました。

前日の雨により開催が心配されましたが雨も上がり午前中は少し肌寒い感じでしたが徐々に回復しゲートボール日和となりました。

年金友の会森会長・JA中島専務に挨拶を頂き、経験者チームの前年度優勝チーム・三日月の井内武男さんの宣誓の後、競技を開始。経験者5チーム、未経験者3チームが熱戦を繰り広げた結果、経験者優勝チームは選抜チーム（北学田・阿野呂・御園）が優勝し優勝旗、賞状、賞品が授与されました。



くるるの杜で記念撮影



フムフム館を熱心に見学

6月9日、JAそらち南女性部の夏期研修旅行が行われ、47人の部員が参加しました。

まず最初に、北広島市にあるホクレンの農業体験施設「くるるの杜」の直売所やレストランを訪れ、全道各地から集められた農産物や加工品などを熱心に見学し、自分達が栽培している・加工しているものと値段やデザインなど様々な面で比較し、考えたり感心したりしていました。

次に、北海道新聞社の総合印刷本社工場「フムフム館」を訪れ、記念写真の撮影、見学記念新聞の配布を経て実際の印刷過程を見学することができました。巨大な輪転機が高速で次々と新聞を吐き出す様子に、皆さんは大興奮でした。

最後には札幌ドームでファイターズ戦を観戦し、女性部の皆さん

のパワーをもらったファイターズは見事勝利！大満足で帰路につきました。

女性部夏期研修旅行

♪参じる光景に興奮♪

♪ボーカルの行方凡一喜一憂♪

青年部第1回パークゴルフ大会

6月18日(土)由仁町パークゴルフ場「ゆにつP.A.」にて青年部による第1回パークゴルフ大会が行われました。

時折、雨がパラつく天候の中でしたが、参加者80名は2コース(18ホールPAR66)を優勝目指してまわっていました。パークゴルフ終了後は「ユニーの湯」に会場を移しバーベキューで親睦を深めました。

パークゴルフの成績については左記のとおり。

優勝	勝	栗山支部
位	位	渡辺晋一(三川支部)
位	位	吉田庄吾(由仁支部)
3	2	清水哲矢(栗山支部)
2	1	奥野竜司(由仁支部)
1	1	林菱谷典雄(栗山支部)
1	1	新悟(三川支部)
1	1	ホールインワン賞

1	0	打
0	0	打
6	5	打
6	4	打
3	3	打

木の近くは打つのが大変



青年部の食育事業のひとつ「三川小学校での野菜栽培学習」が5月より実施されています。

この事業は三川小学校の全学年を対象にし、各学年で栽培したい野菜を考えもらい、実際にその野菜を栽培し、畑作りから収穫までを体験してもらうものです。

6月10日(金)には、小学1年生がスイートコーンとさつまいもの定植を行い、全学年の定植が無事終了しています。

また、他学年では「じま」や「ベチマ」など北海道では珍しい作物の栽培にも挑戦しています。来秋には収穫し、その野菜を使用しポップコーンやカレーライスを調理する予定となっています。

♪青年部による食育活動♪

三川小学校で野菜栽培学習



すべて手作業で!!



収穫が今から楽しみ!



木の近くは打つのが大変

肥料一斉推進のお礼



6月2日、古川



6月8日、桜山

栗山地区では6月6日から10日、由仁地区では6月1日から3日と6月14日から17日にかけて平成24営農年度肥料予約取りまとめ一斉推進が実施されました。

推進期間中においては農作業が大変忙しい中、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今後も、肥料の安定供給と農産物の低コスト生産にお役に立てるよう努めて参りますので、よろしくお願ひ申し上げます。



組合長との契約締結



専務との契約締結

栗山地区では6月14日から17日、由仁地区では6月7日から6月10日にかけて長期共済一斉推進を実施致しました。
推進期間中はお忙しい中、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
今後、期間中の留守宅訪問等を中心において伺い致しますのでよろしくお願い申し上げます。

長期共済一斉推進のお礼



由仁展示即売会



栗山展示即売会

刈払機・ミスト機展示会開催

♪農具を充実させやう♪

組合だより5月号で案内しておりました刈払機・ミスト機展示即売会が由仁地区は5月26・27日、栗山地区は6月2・3日に実施されました。
今年は天候不順による農作業の遅れから、会場となつた由仁営農センター前と農機具研修センター前には例年よりは若干来客数が少なかつたものの、来場された組合員の皆さんは展示された刈払機やミスト機、工具などをくまなく見て回り、仕様や価格、納期、代金の引落など様々な質問をメーカー担当者やJA職員に質問していました。

♪収穫期を見据えて♪

米穀・大豆出荷契約

6月6～10日、平成23年米穀・大豆出荷契約及びてん菜出荷契約及び所得補償制度加入申込及び平成24年産小麦播種前契約が各地区で行われました。

開始予定の午後6時前から組合員の皆さんのが駆けつけ、順番にJJA職員と面談して、品種・面積・数量等を計算・確認しながら記入していきました。

今年度の水稻作付面積は栗山地区・由仁地区合計で、3,894haで、内訳はきらら397ha、758ha、ななつぼしが1,050ha、ゆめぴりかが590ha、あぼろづきが2,713haとなっています。

また、総出荷契約数量は264,180俵になつてあります。



6月8日、山梨



6月10日、富士

♪サンピアザで新鮮野菜などを販売♪

今年最初の朝もぎたて市



売り場全体の上からの眺め



買い物客で賑わう様子

5月26・27日、札幌市厚別区のサンピアザ「お祭り広場」においてJAそらち南産直市を開催致しました。

毎年5月～10月まで月に1回（2日間）開催しており、今日は「春野菜・花・ハーブ・野菜苗市」として、朝どり野菜、春掘長いも、冬越しの馬鈴薯、玉葱、いちご、あみをはじめ農産加工品・ハーブや花の苗などを販売致しました。

新鮮で美味しい野菜を求めて開店からお昼にかけての時間帯は大勢の買い物客による行列ができ、野菜などの補充も追いつかないほど。

買い物客から苗の育て方や野菜など美味しい調理方法など生産者が質問を受けるなど、毎月の開催を楽しみにしているみたいです。

小麦・水稻のいろはを学ぶ

第2回営農いろは塾

6月15・16日、第2回JAそらち南営農いろは塾が開催されました。

15日は、第1部作物基礎（小麦）が古山集落センターにおいて開催され、まず、生産資材部技術指導員・佐藤技師から「小麦の栽培のいろは」として、小麦誕生の起源や麦の持つ播性、主な麦類の種類と特徴、グルテン含有量による小麦の分類が説明され、そして現在栽培されている秋小麦「きたほなみ」の栽培のポイントが解説されました。

続いて、當農部技術アドバイザー・尾崎技師から「小麦の病害虫防除のいろは」として、当JA管内でよく見られる縞萎縮病や萎縮病等主な病害虫および具体的な説明がなされました。

翌16日には、第2部作物基礎（水稻）がJA本所3階大会議室で開催され、由仁営農センター技術指導員・中村技師より「水稻栽培のいろは」として、肥料の施用順序や水管理、除草



古山集落センター



本所3階大会議室



佐藤技師



中村技師



尾崎技術アドバイザー

剤散布、冷害の回避、深水など多岐に渡る項目について詳細に説明がありました。次に、尾崎技術アドバイザーより水稻病害虫の特徴と発生事例が一つずつ紹介されました。

今回のいろは塾は、農作業終了後の開催とあって、参加者は前回よりは少なかったものの、メモを取りながら真剣な表情で話を聞く生産者の皆さん姿を見ることが出来ました。

次回のいろは塾は、「農業機械のいろは」です。日程が決まり次第案内申し上げます。

海外からの来協者相次ぐ

台湾・タジキスタンがり商談・視察



試食・試飲で味・品質を評価してもらいました（台湾三越）



多岐にわたる質問が出されました（タジキスタン視察団）

6月17日、台湾新光三越グループの視察団9名が当JAを訪れました。今回の訪問は、台湾新光三越の20周年創立祭において現地でJAそらち南産の農産物・加工品をセット販売するための商談のため、あ米や馬鈴しょ、玉ねぎ、南瓜、トマトジュースを実際に見てもらいながら交渉を行い、価格や数量、検疫などについて様々な質問がありました。

6月21日にはタジキスタンから3名が視察に訪れ、個人農家から北学田の塚本政紀さん、農業生産法人から大井分の有限会社粒里、そして由仁営農センターを視察しました。

訪れた3名は日本の農協に相当する「全国デフカン農場協会」の会長や農業省経済対策局次長などの要職に就く方々で、日本の農業組織の概要や農民組織の育成、農協を中心とする物流等の仕組みなどについて学び、タジキスタンの営農指導体制のあり方や協会の機能強化に活用しようと、熱心に視察していました。

施設の大ささに驚きの声

厚別中学校施設見学



ポテト館の説明を聞く生徒の皆さん



積み上げられたフレコンの高さにビックリ

5月27日、札幌市厚別区の厚別中学校の1年生の皆さんが由仁営農センターの施設を訪れ、生徒と先生方合わせて200人以上が2班に分かれで米穀乾燥調製施設・米賓館と馬鈴しょ選別施設・ポテト館を見学しました。

今回の見学は郷土や職業（農業）に対する関心を深めることが目的で、まだ施設が稼動する時期ではないものの、資料に田を通してしながら担当職員からの作物の収穫時期や出荷形態などについての説明に耳を傾けていました。

生徒達の中には普段あまり農業に接する機会がない子も多く、パレット、フレコン、リフトといった用語を初めて耳にし、実際に見てどのようなものか、どのように使用するのかを初めて知つたようで、とても感心していました。

平成23年度 中央農業試験場公開デー ～ 食と農 一番身近なサイエンス～

とき 平成23年8月5日（金） 9：30～15：00
ところ 夕張郡長沼町東6線北15号
地方独立行政法人 北海道立総合研究機構
農業研究本部 中央農業試験場
TEL 0123-89-2001

主 催 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構
農業研究本部 中央農業試験場
協 力 北海道農政部
北海道病害虫防除所
北海道空知農業改良普及センター
後 援 岩見沢市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町
JAいわみざわ、JAなんぼろ、JAそらち南、JAながぬま
主なイベント
(1) 夏休み☆公開実験室
(2) 体験／展示コーナー
(3) 農試、普及センターによる「なんでも相談」
(4) 試食コーナー
(5) どん菓子製造実演
(6) スタンプラリー・アンケートで農試産「ゆめぴりか」プレゼント
(7) 試験ほ場のバス見学
(8) 地元農産品等即売会

連絡先 企画調整部 企画課
TEL 0123-89-2587

東日本大震災義援金状況

平成23年3月28日～5月31日累計

	金額
本所金融	11,799
継立出張所	17,424
由仁支所金融	35,003
三川出張所	18,271
総代会	4,393
栗山SS（メリーワーク）	1,255
由仁SS（メリーワーク）	5,457
由仁Aコープ（メリーワーク）	30,264
三川Aコープ（メリーワーク）	7,429
合計	131,295

引き続き募金箱を設置しておりますので、ご協力よろしくお願い致します。

女性部の各サークルを紹介

Women's Activities

Vol.4 ボランティアグループ

設立時期・活動内容等

期間 6月～9月

活動

私たちボランティアサークルは13名の会員がいます。

主な活動内容はガーデンハウスさんの行事のお手伝いです。

買い物ツアーの同行やビアガーデン、つけもの作りなどの補助作業をしています。

私達も家の仕事があるので、お手伝いできる時期は限られているのですが、年に1～3回程度、協力できる範囲でお手伝いしているところです。

興味のある方は、ぜひ一度参加してみてください。



買い物のお手伝い



買い物を終えて一息つく皆さん

会員の皆さん

リーダー・田村	利江 (旭台)	桂	綾子 (富士)
野原	信子 (富士)	坂口	由紀子 (北学田)
上野	千春 (鳩山)	川崎	幸子 (大井分)
木内	礼子 (大井分)	大塚	君枝 (大井分)
鈴木	恵子 (南角田)	堀田	悦子 (南角田)
片山	真由美 (大井分)	岩花	裕美子 (南学田)
中島	美恵子 (南学田)		

お問い合わせ：営農部 営農指導課・鈴木 (☎ 72-1409)

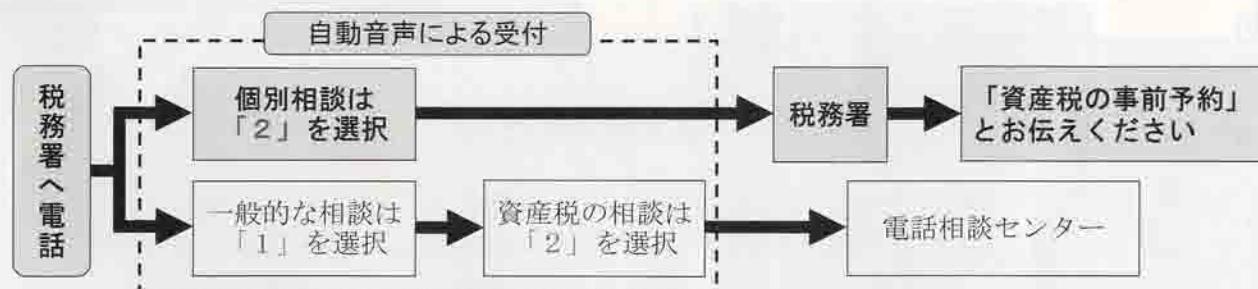
譲渡所得の個別相談 相続税 贈与税について

資産税（譲渡所得、相続税、贈与税）の当面の個別相談日は次のとおりです。

- ・平成23年7月8日（金）・平成23年7月22日（金）
- ・平成23年8月5日（金）・平成23年8月19日（金）
- ・平成23年9月9日（金）・平成23年9月30日（金）

ご利用の際は、事前にご予約をお願いします。
ご理解とご協力をお願いします。

【予約の方法】



岩見沢税務署
(窓口代表 0126-22-0810)

第36回 くりやま夏まつり

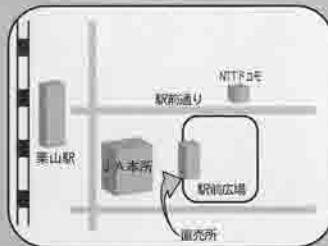
◆とき 平成23年7月22日(金)・23日(土) 2日間
◆ところ 駅前通り商店街・商店街イベント広場

イベント

< 22日(金) >

◇商店街イベント広場

- 12:00~20:30 一町多品出店(11店舗)
13:50~14:00 栗山小学校吹奏楽
14:00~14:30 食育ゲーム
15:15~15:30 栗山いちい保育園お遊戯発表
15:45~16:15 ダンスショーケース
16:30~17:00 栗山中学校吹奏楽部ミニコンサート
17:00~17:40 少女民謡ユニット「み・せ・た」
17:40~18:00 郷土芸能「錢だいこ」



◇駅前通り商店街

- 18:00~19:00 子供みこし
18:30~19:30 郷土芸能パレード
19:30~20:30 活みこし



< 23日(土) >

◇商店街イベント広場

- 12:00~20:30 一町多品出店(11店舗)
13:00~14:00 カラオケのど自慢大会(前半の部)
14:00~14:30 NASTYバンド演奏
14:30~15:30 カラオケのど自慢大会(後半の部)
15:30~15:45 くりやまOH!! 夢乱咲演舞
15:45~16:00 カラオケのど自慢大会審査発表
16:00~17:00 新鮮野菜オークション

◇駅前通り商店街

- 18:00~20:00 全道和太鼓フェスティバルin栗山
20:00~20:30 打上げ花火大会

パレード

◇郷土芸能パレード 22日(金) 18:30~19:30

片道コース(2区商店街→4区商店街 片道約400m)

かさあどり・郷土あどり・介護学校生パレード

*郷土芸能パレードには、当JAの役職員・女性部も参加いたします。

*当JAでは、ピール・ジュース・焼き鳥など 生活店舗で販売いたします。

*その他、駅前通り商店街ではジンギスカン広場、ビアガーデン、ザ・カレー市場、北の錦試飲会、子供向けゲームなどを実施!是非お越しください。

各地区の作業風景



6月8日、トルコ部会圃場巡回



柴田 重夫さん（柏山）

5月20日、栗マロン定植



渡辺 好弘さん（山梨）

6月22日、いちご（けんたろう）選別



6月16日、軟白長ねぎ部会現地講習会



6月3日、メロン栽培講習会



6月10日、アスパラ部会現地栽培講習会



6月14日、いちご部会
現地講習会

6月上旬から中旬にかけて、各作物の栽培講習会が次々と実施されました。まず、6月3日のメロン栽培講習会を皮切りに、6月10日にはアスパラ部会現地栽培講習会、14日にはいちご部会現地講習会がそれぞれ実施され、病害虫の有無・生育状況の確認や栽培・圃場管理・灌水・追肥の方法、共選実績などについて確認されました。参加した生産者の皆さんはより高品質、より多収を目指して真剣に取り組んでいました。

各生産部会で栽培講習会

△出荷最盛期に向け準備万端△

農業者年金受給が近い方へ

手続きの概要についてご案内致します

基本事項

- 通常満65歳からの受給となります。
 - 65歳未満（60歳以上）での受給も可能です。その場合、65歳から受給するよりも年金額は低くなります。
- ◎書類は農協に備えています。（新制度と旧制度では様式が違います。）
◎新制度・旧制度それぞれで手続きが必要です。

老齢年金を希望する方

- 満65歳の自分の誕生日後、手続きとなります。

※準備するもの・・・住民票1通または運転免許証等の身分証明書・認印・納付先口座番号

経営移譲年金（新制度：特例付加年金）を希望する方

子ども（後継者）に経営移譲するか
第三者に経営移譲するか

- 経営移譲が終了した後手続きをします。60歳で経営移譲をしても、年金額が多い65歳からの受給を指定できます。
- 経営移譲は遅くとも65歳の誕生日の2日前までに済ませておくこと。
(農地の移動等は数カ月時間がかかる事もありますので、お早めに！)
- 経営移譲の相手方によって受給の内容が変わります。

※第三者経営移譲の場合はお早めに各町農業委員会とご相談下さい。

※準備するもの・・・戸籍謄本1通（後継者移譲）・身分証明書等（第三者移譲）・認印・納付先口座番号

満60歳で農業者年金受給待機者となります。
60歳になったら年金をもらう方向を考えておきましょう！



農業者年金のご相談は……

宮農部宮農指導課（鈴木） 72-1409

由仁宮農センター宮農係（高橋） 87-3312 まで

☆加入も随時受け付けております☆

この度6月末日をもちまして
退職するに当たり一言お礼申し上
げます。
昭和48年2月、旧由仁町農協
に奉職以来38年5ヶ月の長きに
わたり組合員の皆様をはじめ、
役職員のご支援・ご指導を賜り
大過なく勤めを終えることができ
ましたことに心よりお礼申し上
げます。
結びにそちら南農協のご発展
と組合員の皆様と役職員の皆様
のご健勝をご祈念申し上げ退職
のご挨拶とさせて頂きます。



由仁宮農センター考査役
林保 和彦

退職のご挨拶

第六回理事會報告

日時 平成23年6月23日（木）午後
3時25分より第6回理事会が開催
され、原案通り承認されました。

7月の行事

組合員の動き

編
集
後
記

△正組合員戸数		△組合員数	△正組合員数	△准組合員数	△うち法人	△うち団体
佐藤	安川	田中	大川	安達	尾上	★おくやみ申し上げます。
眞治	久男	力	三郎	昭一	隆道	亡くなつた方
86才	88才	88才	86才	74才	才	年令
才	栗山	町桜	由仁	由仁	由仁	住 所
栗山町桜丘	由仁町東三川	由仁町岩内	町東三川	町南学田	仁町岩内	(5月31日現在)

日がすっかり長くなりましたねえ。とはいっても、夏は過ぎたから、もう口は短くなる一方ですが、暑さはこれからが本番。北海道は他の都府県よりもシ的なのは十分承知ですが、それでも暑くてイヤになってしまいます。

この夏は電力不足が懸念されていますが、ここは昔ながらのやり方で暑さをしないではどうでしょうか。エアコンやクーラー、扇風機等の冷房のコンセントを抜いて、うちわをあおぎ、フルや海に行ったり水風呂に浸かたりして体温の上昇を防ぐ。案外、冷房で過度に冷やすより体にはいいかもしれません。

そういえば、近頃は蚊取り線香の代わりに様々な電気蚊取り器が市場を席巻していく、蚊を殺すことにさえ電気を使っているという、ある意味恐ろしい事実に気付かれます。まあ、今の若い人に「除虫菊」と言つたって何の事だかわからぬかもせんが……



そらち南くみあいだより

2011 7月号 Vol.30

■発行 2011.7.10(毎月1回)

〒069-1511 夕張郡栗山町中央3丁目104番地
発行／そらち南農業協同組合 管理部企画審査課
TEL／0123-72-1313 FAX／0123-72-3364
HPアドレス <http://www.ja-sorachimihami.or.jp>
メールアドレス info@ja-sorachimihami.or.jp
印刷／東山印刷